事務局ニュース10-NO.5 2011．10．20 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

①県との話し合いは10月31日9:15集合、埼玉県県民健康センター
すべてのクラブから保護者と指導員がご参加下さい！
②11月12日全国研・埼玉開催実行委員会準備会にご参加下さい！

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．埼玉県の動き

（＊）平成23年度第１回埼玉県次世代育成支援対策推進協議会が開催されました

９月21日（水）、埼玉県県民健康センターにて。県連協から羽澤専従が出席。

事務局から「①埼玉県子育て応援計画（後期計画）の概要説明　②平成22年度の主な取組実績、23年度の取組予定」の報告があり、羽澤専従から「①学童保育の箇所数は努力しているが、引き続き適正規模に向けて増設が求められる　②『埼玉県放課後児童クラブ運営基準』は先進的だが、2004年の策定から経過している。今回の震災で民家借家の学童保育２ヶ所が被災して使用不能に。安全の観点から『運営基準』の見直しが必要」と発言しました。

同会議「平成22年度の主な取組実績と平成23年度の主な取組予定」から

●放課後児童クラブの充実

◇ すべての小学校区において入所を希望する児童を受け入れることができるように、市町村のニーズを踏まえて体制整備を進めます。（少子政策課）

《 平成 22 年度の実績 》

親の就労等により、昼間保護者のいない小学校低学年児童等の健全な育成を図るため、新設整備及び学校の余裕教室等を改修して、放課後児童クラブを設置する市町村に対し、経費の一部を助成した。

［放課後児童クラブのクラブ数．在籍児童数］

	21年度	22年度	26年度（目標）
クラブ数	909 か所	995 か所	１，038 か所
実施市町村数	70 市町村	64 市町村	64 市町村

在籍児童数	45，726 人	45，737 人	――

《 平成 23 年度の取組予定と今後の課題 》
今後も親の就労等により、昼間保護者のいない小学校低学年児童等の健全な育成を図るため、新設整備及び学校の余裕教室等を改修して、放課後児童クラブを設置する市町村に対し、経費の一部を助成していく。適正な人数規模のクラブへの移行促進が、今後の課題である。

2．国の動き

（＊）来年度予算の概算要求発表　学童保育予算は317億円を要求

９月28日、厚生労働省の来年度の概算要求が発表されました。

総額316億9,900万円で、前年度予算比９億4,900万円増、3.1％増。今年度が前年度比69億7,200万円、12.2％増からすると低い伸びです。

この理由について全国連協事務局は、「補助金の大幅な変更等については、現在、政府が検討している『子ども・子育て新システム』の方針に基づいて行うこととされているため、来年度予算では現在の方針（『子ども・子育てビジョン』に基づき箇所数の増加を図る）で予算編成するものとなっているためだとのことです」（**※詳しくは添付「全国学童保育連絡協議会事務局」資料参照**）

3．県連協のとりくみ

（1）共産党国会議員団、県議団との懇談が開催されました 10月18日（火）

来年度の国及び県予算に向けた要望を届けました。県連協から森川が出席。

（2）『日本の学童ほいく』誌特別還元金の交付状況

「大規模改善整備・備品等助成金」（原資150万円）については、８月末締め切り、６件申請があり、５件承認（１件保留）　支出計100万円でした。

「全国研参加応援助成金」（原資200万円）は、全国研・石川集会終了後11月末まで受け付けます。参加費・交通費・宿泊費の合計額の2割、上限8,000円を支出します。ご活用下さい。

（3）「放課後いきいき応援隊」（県からの委託事業）　現状と今後のとりくみ

9月末現在、「応援隊」への登録者実数は、２11人（※昨年１１５人）。夏休みを中心に学童保育とのマッチング（応援隊が学童保育で活動する）を進め、全106クラブで（※昨年52クラブ）292回活動しました。

応援隊事務局（県連協事務局）では、11月末から12月初旬、冬休みに向けた「応援隊」募集を行うための研修会を開催し、冬休みのマッチングを行います。学童保育としてもご協力をお願いします。

県連協からお知らせ・お願い　（^0^）

1．10月31日（月）の県との話し合いにすべてのクラブからご参加下さい

来年度県予算等についての埼玉県福祉部・教育局との話し合いが迫ってきました。

9:15集合、10:00開会　於：**埼玉県県民健康センター**（※「浦和駅」西口下車、徒歩10分）

参加者の概数を26日までにご連絡下さい。「〇〇クラブから２～４人」「連協加盟10クラブから１人ずつの予定」というような連絡でけっこうです。（**※４ページの連絡用紙をお使い下さい**）

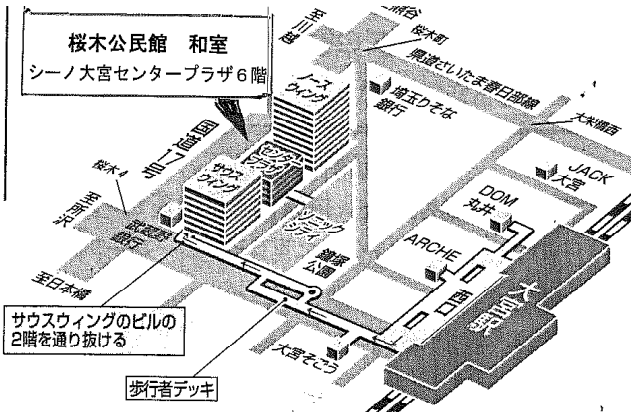
２．全国研・埼玉集会は、来年10月６日・７日で開催予定

（１）開催日時と開催会場の現状

開催日時と会場ですが、全体会場候補地のさいたまスーパーアリーナ（コミュニティアリーナ）が10月の土曜日は６日しか空いていない関係で、いつもより早い日程となりました。７日の分科会場は県内の大学を中心に交渉を行っています。

（２）埼玉集会実行委員会準備会を開催します。どなたでも参加できます！

■日時　11月12日（土）18時～
■会場　さいたま市桜木公民館　和室
（シーノ大宮センタープラザ６階）
■内容　①石川集会を振り返って　②埼玉集会をどう成功させるか　③実行委員会をどうつくるか



実行委員会は、地域連協・クラブから現在の県連協役員（運営委員）とは別に「全国研・埼玉集会を成功させたい保護者・指導員」に集まってもらい、構成することを計画しています。

どなたでも参加できます。多くの地域から積極的に実行委員会に選出して下さい。

３．東日本大震災関連の動き・とりくみ

（１）南相馬市の「ふれあい広場」へ　遊びのボランティアを募集します

さいたまコープから県連協に対して、南相馬市の「ふれあい広場（仮称）」において遊び場をつくるボランティアを提案されています。

11月～３月の間の月２回土曜日（行き＝７時30分に大宮駅集合、帰り＝19時大宮駅着、現地での活動は約２時間です）、４人１組で、仮設住宅の子どもたちを対象に現地で子どもの遊び場をつくるボランティアです。交通費実費はさいたまコープが持ち、県連協としても１人１回2,000円を支給します。地域連協やクラブでご討議いただき、連絡を下さい。指導員がよいと思いますが、「我こそは」という保護者でもよいですよ。**（※４ページの連絡用紙をお使い下さい）**

（２）引き続き、義援金等の支援のとりくみにご協力を

○　東日本大震災　学童保育義援金の振込先　○
銀行コード：0005　店番：351　**三菱東京UFJ銀行 本郷支店　普通預金　0012273**
全国学童保育連絡協議会 代表 木田保男

４．県連協主催の当面の研修会・学習会

（１）第12回学童保育指導員労働問題基礎講座

11月21日（月）9時20開場　於：浦和コミュニティセンター10Ｆ多目的ホール
テーマ＝「指導員の仕事の確立と労働条件の改善を進めるために～なぜ？どうして？確かめ合いたい指導員の仕事」（仮称）　講師＝亀卦川茂さん（富士見市諏訪第２放課後児童クラブ指導員）

（２）第11回集中講座・障害児の生活づくり（**※チラシを添付しました**）

12月11日（日）　於：埼玉県県民活動総合センター　２月５日（日）　於：埼玉教育会館

５．県連協事務局より　県連協の事務所が移転しました

３月11日の東日本大震災により、県連協事務所も震度に比べて大きく揺れ被害を受けたことから、移転を検討していました。

この程、現事務所から徒歩１分のところに物件が見つかり、10月８日、近隣の保護者・指導員にご協力も得て移転することができきました。

住所は「さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ」となりますが、電話やファックス番号には変更ありません。若干ですが広くなり（62.8㎡）、20人程度の会議や会合もできそうです。お近くにいらした時には、是非、お寄りさい。

県連協新事務所地図

FAX：048(644)1572　　Ｅメール：gakudoust@yahoo.co.jp

お願い①　10月31日の「県との話し合い」の参加者の概数を10月26日までにご連絡下さい。

□地域連協・クラブ名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□参加予定人数（概数）※「○○クラブから２～４人」「連協加盟10クラブから１人ずつの予定」で結構です

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お願い②　南相馬市の「ふれあい広場」へ　遊びのボランティアを募集します。
11月10日までにご連絡下さい。

□地域連協・クラブ名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□参加希望者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿